

1年学年便り

平成29年12月25日(月)
第11号-1
尼崎市立小田北中学校
(電話 06-6499-0005)

今年も残りあとわずかになりました。年末年始には今年の自分を振り返り、来年の抱負をあたためて欲しいと思います。

2学期はいろいろな行事がありました。宿泊学習では、実行委員が中心になり、生徒自身で行動できる場面が多くありました。宿泊学習後も、代議委員を中心に互いに声をかけ合う場面が増えました。合唱コンクール・総合文化発表会ではパートリーダーを中心に自分たちで練習をし、どのクラスもすばらしい合唱を披露できたと思います。手話教室や進路学習では見聞を広め、感じたことや考えたことがたくさんあったと思います。生徒会役員選挙では、1年生から2名が立候補し、信任を得ました。来年の生徒会活動でがんばってください。応援演説をしてくれた4名もご苦労様でした。いろいろな行事を通して成長できた2学期だったと思います。

その一方で、わくわくオーケストラ教室とわくわくピッコロの行き帰りや、普通の授業の取り組みでは、まだまだ自覚が足りないと感じられました。一つ一つ言われなくても自分で考えて、その場に応じた行動がとれるようになって欲しいと思います。来年はさらなる成長を期待しています。

冬休みの生活について

しっかり勉強をしよう

1月24日(水)には美術のテスト、1月26日(金)には実力テストがあります。宿題はもちろんのこと、テストに向けての勉強もしっかりしておきましょう。

お手伝いをしよう

家庭科の宿題にも「お手伝いスタンプラリー」があります。冬休みはお手伝いをする機会がたくさんあるので、家族の一員として、積極的にお手伝いをしましょう。

家族や親戚の人と過ごそう

お正月は家族や親戚の人と過ごす機会がふえると思います。この機会に、普段はできない話をしましょう。進路学習の話を思い出しながら自分の進路について相談したり、仕事についていろいろと教えてもらったりするのもよいでしょう。

日本の伝統文化に親しもう

お正月は、日本の伝統文化に親しむ良い機会です。1月19日(金)には百人一首大会もあります。家でも、家族を相手に練習しておいてはどうでしょうか。

始業式の予定

1月9日(火) 登校後8:15廊下整列完了

持ち物 筆記用具、上履き、体育館シューズ、冬休みのしおり、提出物

提出物 国語(課題プリント)、社会(ウインタースクール)、数学(課題プリント)
理科(繰り返しできるノート)、家庭科(お手伝いスタンプラリー)

午前中で下校します。英語(課題プリント)は3学期最初の英語の授業で提出

1月10日(水)から昼食が必要です。(中学校弁当は1月11日(木)から開始)

校内研究授業

11月14日(火)に校内研究授業を実施しました。増田先生が1年1組で、故事成語を4コマまんがで表現するという授業を行いました。4人の班で相談して4コマまんがのアイデアを練りました。生徒たちはわかりやすく説明できるように苦労していました。今回の研究授業を踏まえて、生徒たちが主体的に学習できる授業を工夫していきたいと思います。



手話教室

11月17日(金)に尼崎ろうあ協会の方に来ていただき、「『共に生きる』~困っている人や体の不自由な人に手をさしのべてあげられる人に~」というテーマで、手話教室を行いました。聞こえない世界はどういうものなのかや、聞こえないことによる不便なことなどを、実体験をもとに話していただいたあと、口話(口の動きで言葉を読み取る)の体験や、簡単な手話を教えていただきました。

2年生では点字教室、3年生ではアイマスク体験教室を実施する予定です。これらを機会に、手話や点字、バリアフリーなどに興味をもつ生徒がふえてくれるとうれしいと思います。



手話(指文字)で「き」を表しているところ

生徒会役員選挙

12月8日(金)に生徒会役員選挙が行われ、1年生からは3組の池山実結さんが副会長に、4組の森田愛華さんが書記長に信任されました。生徒会役員やクラスの代議委員と協力して、よりよい小田北中学校にしていきたいと思います。



落ち葉清掃

12月11日(月)の放課後に、学校周辺の落ち葉清掃を行いました。たくさんの落ち葉を集めることができました。



1年学年便り

平成29年12月25日(月)
第11号 - 2
尼崎市立小田北中学校
(電話 06-6499-0005)

総合文化発表会の感想文紹介

1年1組 福山泰和

ぼくたち1年1組は、合唱コンクールで見事、文化発表会に出場する権利を得ることができました。文化発表会で歌ってみると、自分では声を出せたかなと思っていたけど、2組や3組に後で聞いてみると、文化発表会で大勢の人の前で歌うので緊張していたのか、あまり声が出ていなかったそうです。その次の4組の自由曲「星座」の歌声がとても大きくて、感動しました。その後の2年生、3年生の歌は、1年生の歌とは比べものにならないくらい声が大きく、きれいでした。午前最後の小田北ソーランは、さすが3年生というほどのものでした。

午前の部が終わり、校内に展示されている物を見て回り、昼食を食べました。それから午後の部が始まり、3年生の舞台劇は本当にリアルにできていて、映画が何かを現実にしたみたいでおもしろかったです。その次に行われたトライやる・ウィーク発表を見て、来年のトライやる・ウィークは色々な所に行ってみたくなりました。文化発表会最後の発表は吹奏楽部で、TWICEのTTを演奏し、3年生が実際に踊ったりと、とても大盛り上がりで終わりました。

全体講評、合唱コンクール結果発表では、待ちに待った順位発表で、結果は4組が最優秀賞でとても悔しかったです。でも、上位2クラスに入れた事はとても良かったと思います。来年もこのようなとても楽しい総合文化発表会になればいいなと思いました。

中学校最初の総合文化発表会が、楽しく、いい思い出になり良かったですね。ちなみにトライやる・ウィークでは、いろいろな所には行かず1つの事業所でお世話になります。

1年1組 眞嶋美緒

私は吹奏楽部として演奏をしていました。私のしている楽器はコントラバスという弦楽器です。低い音がでるので、あまり目立たないし、メロディーも少ないですが、演奏していて楽しいです。

一番最初にやった曲は「シンクロボンバイエ」という曲でした。この曲はが多く、最初は間違えてばかりでした。でも、何回もやるうちにできるようになってうれしかったです。

2曲目は「ラプンツェルメドレー」でした。この曲は文化発表会でやった曲で一番難しかったです。♯という、まったく分からないものも出てきて、チューナーで何回もゆっくりからしていき、できるようになりました。

3曲目の曲は「TT」という曲で、もらったときにキャーキャーいってる人がいました。普通はメロディーがない低音パートにもメロディーがあって嬉しかったです。でも、メロディー以外のところは「なんやコレ？」となるものばかりでした。先輩に教えてもらって、できるようになりました。

4曲目は「宝島」という曲で、とてもノリのいい曲でした。でも私は、沖縄とかのパレード系だと思っていたら真逆でした。この曲も、まったく分からないリズムで、パートで何回も教えてもらってできるようになりました。

5曲目のアンコールの曲は「サンバ・デ・ジャネイロ」という曲でした。クラスで「アンコールして」とお願いすると、「アンコールやのに頼むん」とか言われて不安になりましたが、3年生や2年生の人がしてくれてよかったなと思いました。この曲は、ほとんどの楽器にメロディーのあるところがあって、私にもあったので嬉しかったです。

初めて全校生徒の前で演奏したので緊張しましたが、楽しかったのでよかったなと思いました。

吹奏楽部として、初めて全校生徒の前で演奏する苦労が、よく分かりますね。いろいろな裏話も聞けて、総合文化発表会をより楽しむことができましたね。

1年2組 上田一心

合唱コンクールは、3年生もすごかったですが、1年生も負けてはいませんでした。ぼくが一番印象に残っているクラスは3組です。この学年で、一番早く朝練を始め、練習の量は3組が一番多かったと思います。ぼくは来年この3組のような、堂々としていて、声も大きく、日々努力をしていたクラスになりたいです。

ぼくは、この文化発表会で一番印象に残っているのは劇です。3年生は最後の文化発表会。ぼくは主役の人がすごいと思いました。一人でのシーンが多く、大きい声も出さないといけないシーンもあり、とても重要な役目だと思いました。恥ずかしがらず堂々としていて、セリフも完璧で感情も感じられて、とても今の3年生はカッコイイなーと思いました。ぼくも3年生になったら、今の3年生のような小田北を支える3年生のように、堂々として「あの人すごいなー」と言われるようにがんばりたいです。

3組のように十分に練習を重ね、しっかりと努力をすると、自信を持って堂々と発表できますね。これは、合唱以外にも当てはまります。日々の努力は大切ですね。

1年2組 田原彩乃

私は部活で油絵を出展しました。制作中は終わる気が全くなくて、このままで大丈夫かなと思いました。でも、先生のアドバイスを聞き、よりよいものが出来ました。やり始めた頃は「実物の色とは逆の色をぬれ」と言われたときは「えっ」と思いました。逆の色をぬった方が、逆にだめになると思ったからです。でも、言うとおりにぬると、実物の色もぬったら実物と似ていておどろきました。たいへんだった油絵もやっと終わって、文化祭で展示されるんだと思うと、見て欲しいなという気持ちと、はずかしいなという気持ちがありました。上手いとほめられてうれしいけど、はずかしい気持ちでした。

美術部の先輩の油絵を見て「すごいな。私もこんな絵をかいてみたい」と思いました。来年も油絵をかくことがあったら、先輩のような絵をかきたいと思いました。

「実物の色とは逆の色をぬれ」と言われたら、誰もが「えっ？」と思いますよね。でも実際にぬって見たらうまくいった。油絵って奥が深いですね。来年はどんな作品ができあがるのか、楽しみです。

裏に続く

1年3組 稲葉悠斗

合唱コンクールは初めての事で、最初は音楽会みたいな物だと思っていました。でも、練習が始まって、順位がつけられる事を知って、小学校とは全然違う行事だなと感じました。更に、合唱コンクールで上位2クラスに入ると、総合文化発表会に出られる事も知りました。

まず、音楽の授業で課題曲を決めて、次に自由曲を決めました。自由曲はぼくが歌いたかった曲ではなかったのですが、決まった曲で精一杯がんばろうと思いました。初めての放課後練習では、音程がばらばらで、声も小さく、ハーモニーも出来ていませんでした。でも、佐伯先生や、山本先生に教えてもらって、練習を重ねていくうちに、どんどん声も少しずつ大きくなって、みんなの音程も合うようになってきました。そして、文化委員の提案で朝練もするようになりました。初めての朝練では、集合時間になってもまだ半分ぐらいしか来ていませんでした。でも、本番が近づくうちに、全員が時間に間に合うようになってきました。そして、本番前日に小学生も見に来ると聞いて、より気が引き締まりました。本番になって、ぼくらはトップバッターで緊張したけどやれるだけやったので気持ち良かったです。結果は残念だったけど、クラスで一致団結してがんばれたので良かったです。

文化発表会では、2年生はトライやるの発表をしていて、3年生はソーランや劇などをしていて、一人一人全員がすごく声が大きくて全員がまとまっていた。ぼくも来年はトライやるの発表をして、3年生になったら劇に出てがんばりたいです。

日々の練習の中で、自分たちの成長を感じられる合唱コンクールだったようです。結果は残念でしたが、3組にとって有意義な合唱コンクールだったと思います。

1年3組 長嶋セーラ

1年生は合唱コンクールの発表をしました。3組は負けてしまったけど、みんな一人一人が声を大きく出すようにがんばった。その時間がよかったなあって思った!!来年は本選まで残って優勝できるようにがんばる!!

その次の2年生の合唱を見ていると、指揮者が前に立ったらみんな指揮者の方を見て、誰も全然動いていませんでした。すごいなって思いました。

3年生の合唱!もう舞台上上がったみんなの顔が本当に輝いていて、少しにっこりとしていてすごいな~って思いました。歌っているところを見たら、みんな大きく口を開けて、本当に真剣でかっこいいなって思いました。

その次、ESS部の発表!!これは英語「寿限無」を話してくれました。とてもすらすらと英語を読んでいてすごかったです。

次は合唱部演奏!!とってもみんな美声でびっくりしました。

次は小田北ソーラン(3年生選抜メンバー)です!!これは体育大会で3年生が演技をしているのを見ました!この時のも、とってもうまく感動しました。でも、これは選抜メンバーです!もう、曲が始まったばかりでもキレッキレです!本当にびっくりです!いきおいがあって1つ1つの部分の演技もキレッキレでした!!私も3年生になってあんな風にソーラン節をおどってみたいなって思いました!

次は3年生の劇「ユタと不思議な仲間たち」です!!これは一人一人が決められた演技を、役になりきるようにしていました。台本を一つもかまわずに全部覚えていて、自然さもとてもありました。やっぱり3年生だからできることなんだな~って思いました。話もとてもよくて感動しました!

次はトライやる・ウィーク発表です。来年が楽しみになりました!

長嶋さんは舞台のようすをよく見えていますね。2年生の指揮者が前に立ったら誰も動いていない点や、3年生の舞台上での少しにっこりした輝いた顔は、来年度、見習いたいですね。

1年4組 田中彩葉

私は合唱コンクールで決勝に出るって分かったとき、嬉しくて、でも本当はまだ信じていませんでした。合唱の練習が始まったとき、みんなの歌声も気持ちもバラバラで、正直勝つ自信とかまったくありませんでした。男子も歌っていない人もおるし、全然ハモらなかつたし、女子もまだあんまり声が出ていなかったの、課題山積みでした。私はパートリーダーで責任感もあったし、大きな声を出して頑張っていました。でも、合唱コンクール1週間前のリハーサルで他のクラスの合唱を聴いてびっくりしました。「勝てるわけない」そう思いながらもみんな頑張りました。

合唱コンクールの日は朝からずっと緊張していました。4組は最後で、それまで他のクラスのを聴いていました。やっぱりすごかったです。4組は4組らしく歌えたと思います。結果発表の時はちょっとあきらめていました。先生が「1組と4組」っていったときは信じられなかったけど、他のクラスの子が泣いているのを見ると、「勝った」って思いました。ここまで来たからには優勝狙おうとみんな話したのを覚えています。

文化発表会当日は合唱コンクールの日より緊張はしませんでした。1番上手に歌えて満足しました。結果発表は最後だから、それまで合唱のこと、忘れていました。そして、結果を聞いたとき、もっとびっくりしました。なんと最優秀賞。嬉しすぎて何言っているのか忘れちゃった。最初はバラバラだったクラスが1つになった瞬間だと思えます。この行事の事を忘れずに、1年4組のみんなできんなことに取り組めたらいいなと思います。

最初はバラバラだったクラスが、合唱の練習を通してまとまってくいなんて、まるで、ドラマみたいな展開でしたね。総合文化発表会の4組の歌声は、ほんとうに美しかったと思います。

1年4組 峯田隼椰

総合文化発表会を終えて、一番苦労したと思うのは指揮です。最初、音楽の授業で指揮をしてみると、ピアノとも全然合ってませんでした。その時に「指揮ずれてる」などの批判がどんどんきました。この日に初めて、指揮がとても難しいものだと分かりました。それから何回か練習しても「指揮者歌え」とか「テンポが遅れてる」などの批判が毎回ありました。心が折れそうになったけど、一日一日頑張っていくうちに、だんだん合ってきて、批判もだんだん少なくなっていきました。合唱コンクールでも、ちょっと指揮は早くなったけど、本選へ出場することができたので良かったです。総合文化発表会では合唱コンクール以上に緊張して、足がぶるぶるふるえて、指揮も早くなってしまったけど、何とか終えることができました。

その後3年生の小田北ソーラン、劇、2年生のトライやる・ウィーク発表などがありました。どれも、迫力があってすごかったです。しばらくすると、結果発表の時間がきました。「どうかな」と、どきどきしながら聞いていたら、「最優秀賞、1年生、4組」と言う発表がされました。その時はとてもうれしくて、もう1回やりたいなと思えるほどでした。来年はもっと良い合唱がしたいです。

指揮者としての苦労と成長がよく分かりますね。ピアノ伴奏者も夏休みに頑張って練習してくれています。他にもパートリーダーの人など、いろんな人の頑張りに感謝しましょう。

